

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	B-No.1		調査位置			北緯	36° 59' 37.2500"			
発注機関	栃木県 大田原土木事務所				調査期間	2008-12-13 ~ 2008-12-15		東経	140° 09' 27.7600"	
調査業者名					主任技師			現場代理人	コア 鑿定者	
孔口標高	266.15 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機	
総掘進長	4.00 m								ハンマー 落下用具	ポンプ

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度 試験番号	室内試験 採取方法	掘進月日
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10				
(m)	(m)	(m)	(m)																
	265.75	0.40	0.40	表土 (SF) 溶結凝灰岩 (WtF)	黒 暗褐			上部10cm間、有機質火山灰土。以深は礫混り粘土から成り、軟質である。 GL-2.35mまでは新鮮さが感じられ、長さ5~50cmの棒状コアで採取される。 以深、亀裂が多く、特にGL-2.35~2.70m間には網目状クラックが存在し、割れ目に沿う粘土化が顕著で岩片自体もやや脆い。稀にφ5~10mmの火山礫を混入している。 GL-3.1m以深、割れ目沿いに風化による変色が見られるが、岩体自体の極端な硬度劣化は無い。				50 / 0	50 / 0	>50					
1											1.00	50 / 0	50 / 0	>50					
2											2.00	50 / 0	50 / 0	>50					
3											3.00	50 / 0	50 / 0	>50				12/13	
4	262.15	3.60	4.00								4.00	50 / 0	50 / 0	>50				12/15	